

進行食道癌に対するDCF(ドセタキセル+シスプラチン+5FU)療法の安全性および有効性に関する 観察研究

1. 研究の対象

2007年3月から2018年3月に当院で食道癌に対してDCF療法を受けられた方

2. 研究目的・方法

当施設では、進行食道癌の患者さまを対象に、十分なインフォームド・コンセントを得たうえでDCFによる化学療法を施行しております。当施設における治療成績を解析し、安全性および有効性を評価することを目的に、この調査研究を計画しました。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、食道癌の規約に基づく情報、有害事象、治療効果、手術成績、予後等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岩手医科大学 外科学講座

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19-1

TEL:019-651-5111(内線 3627)

研究責任者：秋山有史

以上